2026年4月14日

令和7(2025)年暦年国内概況

一般財団法人日本エネルギー経済研究所
計量分析ユニット

✓ 物価高にもかかわらず、実質GDPはプラス成長

2025年の実質GDPは前年比1.2%増の591.4兆円でプラス成長となった。民間最終消費は、賃金の上昇が影響して同1.5%増加した。企業設備投資は、米国の関税政策による先行き不透明感から投資が慎重となった面もあったが、人手不足対応や人工知能(AI)、データセンターなど情報通信機械への投資拡大により同1.9%増加した。また、住宅投資は、建築物省エネ法改正を受けて駆け込み需要やその反動減があったため時期により増減があったが、通年では同2.5%減となった。

鉱工業生産指数は前年比で0.3%低下した。輸送機械工業が米国の関税政策の影響を受けて小幅な上昇に留まった一方で、窯業・土石製品工業や化学工業などを中心に低下したことが影響した。

国内企業物価指数は前年比で3.2%上昇、消費者物価指数は同3.1%上昇となり、いずれの上昇率も前年を上回った。企業物価、消費者物価ともに米の価格上昇による影響が大きく、物価指数全体を押し上げた。エネルギーは補助金等により上昇率が抑制された形となった。

（中野　優人）

✓ 主要素材産業の生産量低下により一次エネルギー国内供給は4年連続で減少

2025年の一次エネルギー国内供給は前年比0.5%減の405 Mtoeとなり、4年連続で減少した。背景には、エネルギー多消費産業である鉄鋼およびセメント産業の生産活動が減少したことなどが要因と考えられる。

エネルギー源別にみると、新エネルギー等、原子力は増加傾向が継続している一方で、石炭、石油、天然ガスのいずれもが前年比で減少している。特に、天然ガスは3.0%減と化石燃料の中でも減少幅が大きく、天然ガス火力発電電力量の減少による影響を受けた。

一次エネルギー国内供給における石油依存度は35.4%、天然ガス依存度は21.3%となった。また、前年比では、化石燃料の輸入量の減少幅が輸出量の減少幅を上回ったことから、エネルギーの輸入依存度は82.3%となり、前年比で0.3ポイント上昇した。

エネルギー起源CO_2排出量は、化石燃料の一次エネルギー供給が減少したことにより、同1.2%減と3年連続減少し、1980年代の水準に相当する800Mt-CO_2台の895.4Mt-CO_2となった。

（尾羽　秀晃）

✓ 電力需要は2年連続で増加。供給では新エネルギー等、原子力が増加、火力は横ばい

電力調査統計による2025年の販売電力量は前年比1.0%増となり、2年連続で増加した。その内訳をみると、電灯は同2.8%増、低圧電力は同0.6%増、高圧は同0.3%増、特別高圧は同0.2%減となり、特別高圧の微減以外は前年を上回った。夏は前年をさらに上回る記録的な猛暑により冷房需要が増加したこと、冬は3月と12月を除き前年よりも寒く暖房需要が増加したことなどが電灯の増加に寄与した。

発受電電力量は同3.8%増、一部が二重計上となる受電量の「その他」を除くベースでは同1.4%増となった。電源別にみると、水力は同5.4%減となった。原子力は、女川2号機と島根2号機が前年11月と12月にそれぞれ再稼働したことなどで設備利用率が上昇して同10.8%増と、3年連続で大きく増加した。新エネルギー等は、バイオマスが同18.3%増、太陽光が同6.7%増、風力が同10.5%増となったことで、同6.9%増となり、統計上比較可能な2017年以降、9年連続で増加した。原子力と新エネルギー等の増加を受け、火力は同横ばいとなった。

（張　天鴻）

✓ 燃料油国内販売量は灯油以外で前年を下回り、4年連続減少

2025年の燃料油国内販売量は前年比1.7%減の1億3,745万kLとなり、4年連続で減少した。A重油とB・C重油は補助金の効果が他のエネルギーに比べ小さいこともあり、価格上昇率が他のエネルギーより高かったため燃料転換が進み、それぞれ同4.2%減、同13.9%減となった。特にB・C重油が500万kLを下回るのは1952年以来である。ナフサはエチレンの生産が同3.1%増だったもののベンゼン、トルエン、キシレン(BTX)の生産が同6.2%減だったため、同1.8%減となった。ガソリンと軽油は低燃費車の普及など構造的な減少要因があり、それぞれ同0.6%減、同0.7%減となった。一方、灯油は、需要期の1月、2月が前年より寒かったことに加え、前年10月が統計開始以来の最高気温を記録した反動の影響が大きく、同0.1%増となり、2017年以来8年ぶりに増加した。

2025年の燃料油国内生産量は同1.0%減の1億3,359万kLとなった。

（江藤　諒）

✓ 原油輸入が3年ぶりに増加、米国産の増加で中東依存度は9年ぶりに低下

2025年の原油輸入量は輸入価格の低下を背景に、前年比3.5%増の1億3,974万kLとなり、3年ぶりに増加した。石油製品の国内販売量は減少したものの、原油処理量は原油輸入量の増加で同0.4%増の1億3,758万kLとなった。中東からの輸入量はアラブ首長国連邦(UAE)が同1.2%減、クウェートが同7.3%減となったものの、サウジアラビアが同4.5%増、カタールが同7.9%増となったことから、同1.4%増の1億3,068万kLとなった。ただし、米国からの輸入が1.8倍に増加したことから、中東依存度は同1.9ポイント低下の93.5%となり、9年ぶりに低下した。

燃料油の輸入量はガソリン、灯油、軽油を中心に減少し、同2.6%減の3,227万kLとなり、2019年以来の低水準となった。一方、燃料油の輸出量は軽油、ジェット燃料油を中心に増加し、同3.9%増の2,615万kLとなり、2年ぶりの増加となった。ただし、ジェット燃料油の輸出は10月まで増加していたが、中国政府による日本への渡航自粛勧告や航空便の減便指示の影響で11月・12月は減少した。

（江藤　諒）

✓ 都市ガス販売量は前年比0.9%増、家庭用の需要増が牽引

2025年の都市ガス販売量は382.5億m^3（1m^3＝41.8605MJ換算）で、前年比0.9%増、3年ぶりに増加した。すべての用途で前年の販売量を上回り、特に家庭用は冬季の気温が前年より低かったことから同2.1%増となった。

LNG輸入量は同1.4%減と8年連続で減少、6,498万tとリーマン・ショック、世界金融危機直後の2009年（6,455万t）なみとなった。ガス事業者の消費量は同0.1%増の一方、電気事業者の消費量は同3.9%減で全体を押し下げた。石炭輸入量は同2.5%減で、1億6,169万tとこちらも2009年（1億6,181万t）なみとなった。原料炭、一般炭ともに前年を下回った。

（遠藤　聖也）

お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp

EDMCエネルギートレンドトピック

経済動向、エネルギー需給の推移（暦年ベース）

		2021	2022	2023	2024	2025	伸び率(%) 2021	2022	2023	2024	2025
主要経済指標等	実質GDP(2020年基準10億円)	574,041	581,685	585,878	584,458	591,431	3.6	1.3	0.7	−0.2	1.2
	名目GDP(10億円)	573,569	584,901	616,033	634,226	663,757	3.5	2.0	5.3	3.0	4.7
	鉱工業生産指数(2020年=100)	105.4	105.3	103.9	101.2	100.9	5.4	−0.1	−1.3	−2.6	−0.3
	素材系生産量(千t)										
	粗鋼	96,336	89,227	87,001	84,009	80,671	15.8	−7.4	−2.5	−3.4	−4.0
	エチレン	6,349	5,449	5,324	4,989	5,144	6.8	−14.2	−2.3	−6.3	3.1
	セメント	50,083	48,533	44,475	42,028	39,515	−1.6	−3.1	−8.4	−5.5	−6.0
	紙・板紙	23,939	23,661	21,999	21,604	21,100	4.7	−1.2	−7.0	−1.8	−2.3
	国内企業物価指数(2020年=100)	104.6	114.9	119.9	122.8	126.7	4.6	9.8	4.3	2.5	3.2
	消費者物価指数(2020年=100)	99.8	102.3	105.6	108.5	111.9	−0.2	2.5	3.2	2.7	3.1
	為替相場(日銀)(¥/$)	109.80	131.38	140.48	151.48	149.66	2.8	19.7	6.9	7.8	−1.2
	暖房度日(度日)	833.6	972.5	807.1	863.4	915.1	−0.8	16.7	−17.0	7.0	6.0
	冷房度日(度日)	406.9	506.0	613.5	648.0	693.7	−8.0	24.4	21.2	5.6	7.1
一次エネルギー	国内供給(ktoe)	433,926	429,799	411,207	407,140	405,010	3.0	−1.0	−4.3	−1.0	−0.5
	石炭	117,770	117,361	107,694	106,197	104,097	6.5	−0.3	−8.2	−1.4	−2.0
	石油	159,925	159,416	152,034	144,222	143,533	2.3	−0.3	−4.6	−5.1	−0.5
	原油(国産を含む)	133,447	143,771	134,858	124,938	125,945	0.4	7.7	−6.2	−7.4	0.8
	石油製品	26,478	15,645	17,176	19,283	17,589	13.1	−40.9	9.8	12.3	−8.8
	ガス(天然ガス、LNG)	97,245	95,511	88,172	89,015	86,350	−4.0	−1.8	−7.7	1.0	−3.0
	国産天然ガス	2,298	2,148	2,036	1,917	1,847	−4.4	−6.5	−5.2	−5.8	−3.7
	LNG	94,947	93,364	86,136	87,098	84,503	−4.0	−1.7	−7.7	1.1	−3.0
	水力	16,739	15,626	15,278	16,087	14,914	0.8	−6.6	−2.2	5.3	−7.3
	原子力	13,089	11,085	16,503	18,063	20,062	42.3	−15.3	48.9	9.5	11.1
	新エネルギー等	29,158	30,799	31,526	33,556	36,053	6.7	5.6	2.4	6.4	7.4
	CO_2排出量(Mt-CO_2)	988.2	994.2	930.5	906.6	895.4	2.5	0.6	−6.4	−2.6	−1.2
電力需給	発受電電力量(百万kWh)※[1]	1,271,801	1,279,231	1,228,987	1,200,309	1,246,377	4.1	0.6	−3.9	−2.3	3.8
	水力	91,273	86,705	86,022	91,654	86,692	3.0	−5.0	−0.8	6.5	−5.4
	火力	702,456	718,600	663,363	659,191	659,121	−0.7	2.3	−7.7	−0.6	0.0
	原子力	61,223	51,774	77,461	84,906	94,065	42.4	−15.4	49.6	9.6	10.8
	新エネルギー等	111,233	121,428	129,548	133,807	143,025	12.6	9.2	6.7	3.3	6.9
	太陽光	92,628	102,567	109,488	110,452	117,839	13.6	10.7	6.7	0.9	6.7
	その他	305,958	300,724	272,527	230,751	263,474	7.5	−1.7	−9.4	−15.3	14.2
	燃料消費※[1]										
	石炭(千t)	107,291	110,491	102,278	103,176	102,067	1.1	3.0	−7.4	0.9	−1.1
	原油(千kL)	310	219	89	12	45	66.2	−29.5	−59.5	−86.0	262.1
	重油(千kL)	3,684	5,902	3,981	2,733	2,180	36.2	60.2	−32.5	−31.4	−20.2
	LNG(千t)	42,597	41,192	37,194	37,464	36,006	−8.4	−3.3	−9.7	0.7	−3.9
	都市ガス(千m^3)	5,200	5,943	5,710	4,802	4,194	7.2	14.3	−3.9	−15.9	−12.7
	電力需要(百万kWh)※[1,2]	873,260	882,598	851,599	855,818	862,549	1.8	1.1	−3.5	0.5	0.8
	低圧	308,090	313,644	301,503	304,559	312,278	0.5	1.8	−3.9	1.0	2.5
	電灯	273,482	278,565	267,534	270,902	278,418	0.6	1.9	−4.0	1.3	2.8
	電力	34,607	35,079	33,969	33,657	33,861	−0.4	1.4	−3.2	−0.9	0.6
	高圧	294,141	290,262	283,846	289,545	290,419	1.2	−1.3	−2.2	2.0	0.3
	特別高圧	223,886	222,196	215,669	219,763	219,394	3.3	−0.8	−2.9	1.9	−0.2
	電力需要(百万kWh)※[3]	875,409	887,389	859,266	867,518	871,108	1.3	1.4	−3.2	1.0	0.4
都市ガス販売	都市ガス販売量(万m^3)※[4]	4,057,467	4,139,477	3,836,767	3,792,435	3,825,166	4.1	2.0	−7.3	−1.2	0.9
	家庭用	984,250	966,812	896,537	891,751	910,293	1.5	−1.8	−7.3	−0.5	2.1
	商業用	362,441	386,091	386,410	390,366	393,918	−2.2	6.5	0.1	1.0	0.9
	工業用	2,401,147	2,463,766	2,239,600	2,184,145	2,188,347	6.3	2.6	−9.1	−2.5	0.2
	その他用	309,628	322,808	314,221	326,173	332,608	3.3	4.3	−2.7	3.8	2.0
石油製品販売	燃料油販売(千kL)	154,215	151,805	146,825	139,789	137,445	1.6	−1.6	−3.3	−4.8	−1.7
	ガソリン	44,768	44,781	44,645	43,826	43,577	−2.8	0.0	−0.3	−1.8	−0.6
	ナフサ	42,791	37,985	36,785	34,825	34,206	6.8	−11.2	−3.2	−5.3	−1.8
	ジェット燃料油	3,175	3,806	4,296	4,315	4,169	−2.2	19.9	12.9	0.4	−3.4
	灯油	13,509	13,039	11,906	11,188	11,199	−4.0	−3.5	−8.7	−6.0	0.1
	軽油	32,140	32,039	31,391	30,831	30,606	0.3	−0.3	−2.0	−1.8	−0.7
	A重油	10,000	10,528	10,064	9,705	9,299	−0.3	5.3	−4.4	−3.6	−4.2
	B・C重油	7,833	9,628	7,738	5,099	4,390	25.9	22.9	−19.6	−34.1	−13.9
	うち電力向け	3,552	5,877	4,325	2,565	1,755	70.2	65.5	−26.4	−40.7	−31.6
	LPG(千t)	11,366	12,731	11,964	11,658	11,591	10.3	12.0	−6.0	−2.6	−0.6
原油需給	輸入量(千kL)	144,663	158,642	147,661	135,037	139,736	0.5	9.7	−6.9	−8.5	3.5
	中東依存度(%)	92.7	94.1	95.1	95.4	93.5	[0.7]	[1.4]	[1.0]	[0.3]	[−1.9]
	原油処理量(千kL)	144,648	156,576	147,886	137,086	137,576	−0.4	8.2	−5.5	−7.3	0.4
エネルギー価格	通関レート(¥/$)	109.38	130.71	140.14	150.96	149.73	2.2	19.5	7.2	7.7	−0.8
	原油価格(輸入CIF、$/bbl)	69.78	102.97	86.76	83.73	74.48	47.6	47.6	−15.7	−3.5	−11.0
	LNG価格(輸入CIF、$/t)	526.19	899.12	703.14	626.63	586.12	30.8	70.9	−21.8	−10.9	−6.5
	一般炭価格(輸入CIF、$/t)	132.84	324.25	243.27	157.50	126.19	64.4	144.1	−25.0	−35.3	−19.9
	化石燃料輸入額(億円)	170,071	336,990	273,456	255,061	221,450	51.1	98.1	−18.9	−6.7	−13.2

注:伸び率は前年比、[ ]内は前年差。

※[1] 出所は、資源エネルギー庁「電力調査統計」。

※[2] 最終保障供給、離島供給、特定供給、自家消費を含む。

※[3] 出所は、電力広域的運営推進機関が発表する流通需要。

※[4] 都市ガス販売量は1m^3＝41.8605MJ換算。